



岩手の底チカラ

支援企業紹介

岩手県八幡平市

有限会社
ファーストコートサービス

Power of business human in Iwate

従業員の教育を徹底、高い意識と技術力が、口コミ集客とリピーター獲得成功のカギ

工業部品の研磨作業は、一人一工程の作業フローを組んで行われる。リズミカルな動きで次々と磨き上げられていく

岩手県八幡平市でコーティング事業を展開する、有限会社ファーストコートサービス。分野の特性を応用した事業展開を行いながら、顧客満足の高い製品やサービスを提供し続ける秘訣は、徹底した従業員教育から生まれる技術の高さにあった。

得意の技術を応用、時代やニーズに合った事業展開を図る

洗浄、磨き、コーティングなど、表面処理の二次加工を専門に取り扱う有限会社ファーストコートサービス。2002年の創業以来、墓石や自動車のコーティングをはじめ、工業機械部品の加工などを行っている。

商品はフッ素樹脂や自社開発のクリーニング材などを使った表面加工技術。取扱品目は墓石、自動車、工業製品や機械部品など多岐に渡り、一般コンシューマーから大企業まで幅広く取引を行っている。「引き出しが多い分、時代やニーズに合わせた仕事ができるんです」と語る佐藤晃取締役社長。取扱品目や顧客の裾野が広く、ひとつの分野で様々な事業展開を図れるのが同社の強みだ。実際、企業発注の仕事が減った時期には、個人客向けの墓石クリーニングや自動車コーティングの受注を増やすなどの経営努力を重ねている。

しかし、初めは「コーティング」という技術や業務への理解を得ることが難しく苦労も

あった。「銀行や行政を回っても、コーティングってなにそれ?という反応ばかりでした」と佐藤社長は創業当初を振り返る。

問題解決のヒントは行政との連携や交流会への参加にあり

困りごとの相談から仕事の受注に発展するケースが多いという同社。工場などの製品製造過程で生じる様々な問題の解決に、同社のテフロン[®]加工技術^{*}が一役買っている。全国的に見ても専門的にテフロン加工を扱っている企業は少ない上、一口に「テフロン[®]」と言っても企業によって工程ごとに違いがあるなど、加工方法はさまざま。さらには、加工する対象や使用環境によって加工方法も変わる。「ときには難しい相談も受けます」と佐藤社長。そんなときには、岩手県工業技術センターに出向いて専門家からヒントをもらったり、同業者の交流会に参加したり、情報交換や相談ができる環境を生かして仕事に取り組んでいる。現在は八幡平市のインキューバー

^{*}フッ素樹脂コーティング

今月の表紙

納車と同時に訪れるリピーターも多い、自動車コーティング作業の様子。それ以外の業務においても、製造部部長の安ヶ平恵さん（写真右）と、施工部部長の小綿京子さん（写真左）を中心に、高い技術力を生かした丁寧で細やかな仕事によって、着実に受注の幅を広げている。

ション施設に入所しており、将来的に誘致企業として八幡平市内に移転する予定。いわて産業振興センターからも設備貸与や専門家派遣の支援を受けたり、2005年には岩手県の経営革新承認企業に認定されるなど、行政とも連携を図りながら事業を展開している。

顧客の9割を口コミで獲得、品質の高さを保つ丁寧な仕事

創業当初は個人客からの墓石クリーニングや、自社開発のコーティング材を使用する自動車コーティングを受注しながら、次第に大手企業を相手にした金物の研磨加工や、機械設備へのテフロン®加工などの受注を増やしてきた。

現在、400件近い実績を誇る自社ブランドの墓石クリーニングサービス「墓石清（さや）か」や、自動車コーティングなどは顧客の90%以上を口コミで獲得している。「仕事のレベルを高く保てば結果は着いてきます。丁寧で細やかな仕事をするを大切にしています」と、佐藤社長が胸を張るのには理由がある。実は同社の従業員は全員が女性。墓石クリーニングはもとより、金物の研磨にも丁寧で細やかな仕事ぶりが発揮され、高級建築金物を任されるなど、製品の仕上りは高く評



**有限会社
ファーストコートサービス**
【取締役社長】佐藤 晃
【所在地】八幡平市大更2-154-17
【電話】0195-75-2371
【URL】<http://www.f-coat.jp>

取締役社長 佐藤 晃

1968年秋田県秋田市生まれ。秋田県立由利工業高校を卒業後、アルプス電気盛岡工場に就職。クリーンルーム内でのデバイス部品のプロセス技術業務や新製品開発業務に携わる。2002年同社工場閉鎖に伴い、同年8月有限会社ファーストコートサービス設立。

価されている。「人材教育にも力を入れています」と語る佐藤社長。従業員の約半数を占めるパートタイマーに至るまで、現場のリーダーと同様に、ものづくりの知識やシステムから業績表の見方まで研修を行うなど、人材教育を徹底している。もともとは職人仕事だった金物加工なども、ラインを組んで一人一工程を完璧にこなすことで、効率化と品質の高さを実現した。一人ひとりが自分の仕事に責任を持ち、技術を高めるために努力しつづけられる環境、それが同社のもうひとつの強みでもある。「人材を育成することで、機械加工とは違いどこまでもレベルアップが図れる。伸びしろが尽きないんです」と語る佐藤社長の目は、地元へ根付く産業の未来を、しっかりと見据えていた。

テフロン®はデュポン社の登録商標です。

< P.3 写真 >

1	4	5
2	3	6

1. 高級建築金物の仕上りを真剣な表情で、ひとつひとつチェックしていく
2. ステンレスの細粒を金物に打ち付けることで表面を研磨するショットブラストマシンの作業
3. テフロン®加工処理の工程のひとつ、細かい砂を噴射する表面加工の作業
4. テフロン®加工処理の工程、スプレー塗装
5. 墓石クリーニング「墓石清か」の施工前（左）と施工後（右）。白い水アカが綺麗に落ちて、石本来の輝きを取り戻すことができる
6. 作業途中でもミーティングを重ね、品質の高さを維持している

